

ふる里からの  
『ふるろうだより』  
6月号(水無月)

平成30年 6月 4日発行

発行者: 社会福祉法人 霞明会  
ティザービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地  
TEL (0957) 27-4500  
FAX (0957) 27-4501  
ホームページ検索: ティザービスセンターふる里

## 「38年ぶりBBSの仲間と感動の再会」

今年の3月頃でしたか電話がかかりました。大学の後輩で京都からでした。「5月最後の土曜日に大学のサークルのOB会をしようと考えているけど、どうかなあ。」即答で「行くよ！行く！行く！」と応えました。当時のことが走馬灯のように思い出されました。ひとしきり話してから電話を切った後、娘に連絡して飛行機の切符を取ってくれるようお願いしました。

私が学んだ大学は、『同朋大学』です。名古屋にある仏教系の大学で仏教学科、国文学科そして、社会福祉学科があり、私は、社会福祉学科を専攻しました。基礎学問の中に仏教の精神も学ぶことが出来ました。“生きること”とか“無”など、時に頭の中がごちゃごちゃになるような時もありましたが、小さい頃から神様や仏様について身近に感じ、接していましたので、講義も楽しいものでした。現在の仕事に縁があるのもこの大学に行ったからだろうと思ひ深く感謝しています。入学から2年間は、大学の男子寮に入って自炊生活しました。高知の先輩が同室でとっても素晴らしい先輩でした。その方の影響でBBSという福祉系のサークルに入ることになりました。BBS (Big Brothers and Sisters Movement) は、その名のとおり、青少年少女たちに、同世代の、いわば兄や姉のような存在として、一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむボランティア活動です。約150年程前にアメリカで始まったものです。当時は、小・中学生を相手に家庭訪問して勉強を教えたり、彼らの趣味に協力したり、また、集団でキャンプや球技大会、レクリエーションなどをして、彼らの生活に豊かさや、仲間と活動する喜びを感じさせていました。子供たちにも学校がありますので、平日は、家庭を訪問しての夕方からの活動、休日や祝祭日及び長期休暇の時には、主に終日での活動でした。

いよいよ、5月25日名古屋への出発です。27日まで滞在し、宿泊は友人の家にお世話になりました。26日OB会当日。名古屋駅高島屋の大時計の所に集合との連絡で、そこに行きましたが、卒業して38年も経っているのですからなかなか見つけられませんでした。何となく面影があるお方に声をかけたら、後輩や先輩でした。じっくり見てみると当時の顔そのもの。ちょっと年を取っているだけの顔でした。15名集まりました。懐かしさと嬉しさで気持ちは昔に戻っていました。話の楽しいこと楽しいこと、当時の写真を見ながらの思い出話に花が咲き、2次会のカラオケまで大騒ぎでした。「今も幸せだけど、幸せな人生を歩んできたものだ。」と、自分の人生に感謝せずにはおれませんでした。現在、BBSの活動は、学生が減り社会人も高齢になって、現在はちょっと淋しい活動みたいです。先輩との縁で出会ったBBSの活動。私の心を育てていただいた活動です。今、何とかして恩返しをしなくてはと思うばかりです。

From センター長 森 隆敏

## 5月行事 青空コンサート

今回の5月行事は、『さわやか♪青空コンサート♪』を15日(火)～17日(木)までの3日間行いました。リニューアルした中庭をステージに、外部からバンド演奏や踊りの方たちを招いて青空の下で素晴らしいステージを楽しみました。

1日目は、長岡様を中心とした『ヒロ・バンド』の方たちによる楽器演奏。懐かしい曲を中心にコミカルで軽妙なトークで会場を盛り上げて下さり、とても楽しい時間となりました。

2日目は、『マール・プア』様によるフラダンスや相撲甚句・歌の披露がありました。利用者の皆さんも一人ひとり首にレイをかけて雰囲気味わうとともに、華やかな衣装や妖艶な踊りに男性利用者さんの方は特に目を奪われているようでした。

最終日は、『ダ・カーポ』様24名によるコーラスの披露がありました。利用者の方に顔馴染みの方が多く、懐かしい再会に喜ばれている場面もあり、素晴らしい歌声に盛り上がりつつも温かい交流もできました。

3日間、1時間弱のステージでしたが、利用者さんが誰一人としてトイレ等で席を立たれることもなく、アンコールの声をかけられるなどとても楽しまれた時間でした。





# ～ふる里の行事食～

魚を中心とした和食メニューの食事。今回の行事食は、混ぜごはんにあった献立で色彩豊かで栄養バランスに配慮され「健康」を考えたメニューとなっています。



いつもの室内ではなく、外でさわやかな風を感じながら、歌や踊りを楽しまれている表情が、とても穏やかで「楽しかった」、「面白かった」と満足された感想をたくさん聞くことができ、利用者さんが一人ひとりが楽しんで頂けたことがとてもうれしく思いました♪



From 行事担当 小川 晃子・末永 直己

# ふる里への訪問交流会



## 少林寺拳法大村西道院様の皆さんによる黙想

去る5月26日(土)...

すっかり恒例となりました、少林寺拳法大村西道院様との訪問交流会を実施しました。少林寺の型や護身術の披露、レクリエーションなどで交流し、小さなお子様の演技や触れ合いに満面の笑顔を見せて喜ばれていました。交流後には施設周りの除草作業や車いすの講習なども活動して頂きました。ありがとうございました。



型の演技

子どもたちとの交流風景

# 在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは...

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生まれるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。



お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。

# 6月の行事予定

◆ふる里6月行事『さわやか☆スイーツビュッフェ♪』  
26日(火)・27日(水)・28日(木)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 4日(月)・22日(金)

◆書道教室 ～中村朱実先生～ 7日(木)・18日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 21日(木) ※1

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村寿美子先生～ 19日(火)

◆やわらぎ(鍼灸マッサージ師)～平島泰士先生～ ... 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 ... 毎週水曜日午後(6・13・20日実施予定)

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



# 今月の作品



ふる里に咲く紫陽花

九州北部地方も梅雨入りし、すっかりしないじめじめとした天候が続いています。

梅雨とは中国の揚子江周辺から、日本の東アジアのごく限られた地域のみ気象現象で、国際的にも「バイウ」と表現されます。その名称の由来も色々な諸説がありますが、日本では、梅の実が完熟して潰れてるほどの時期であることから、「潰ゆ(ツユ)」と発音するようになった説が有力のようです。体調を崩しやすいこの時期、元気に過ごしてふる里に通われることを願っています。

編集後記 三岳 健吾